

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 2 1	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
<b>題名 (原題/訳)</b> Risk factors for hepatitis C fibrosis: a prospective study of United States veterans compared with nonveterans. C 型肝炎における肝臓線維化の危険因子 アメリカ退役軍人と非退役軍人を比較した前向き研究	
<b>執筆者</b> Kayali Z, Tan S, Shinkunas L, Voigt M, LaBrecque DR, Stapleton JT, Brown KE, Schmidt WN.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b> J Viral Hepat. 2007 Jan;14(1):11-21.	
<b>キーワード</b> 飲酒、線維化、C型肝炎、危険因子	
<b>要 旨</b> <b>目的：</b> C型肝炎ウイルス (HCV) の慢性感染は、多くの患者で肝硬変の原因になる。しかし、アメリカ退役軍人など HCV が高率に陽性である群にとっては、線維化の伸展の危険因子をもっと解明する必要がある。そこで我々は、アメリカ退役軍人の HCV 陽性者と非退役軍人の HCV 陽性者について、人口統計的特性や臨床上的特徴、線維化に影響する独立した因子を比較した。	
<b>方法：</b> HCV 陽性のアメリカ退役軍人 459 人と HCV 陽性の非退役軍人 395 人について、詳細な医学的状況、社会的状況、就労状況についての質問項目を、前向きな方法で比較した。肝疾患の進展に関与する臨床要因を退役軍人と同地域から選ばれた非退役軍人で比較した。また肝生検の結果で線維化のステージを検討した (退役軍人 168 人、非退役軍人 208 人に生検を実施)。両群の独立した危険因子を決定するため、多重ロジスティック解析を用い、線維化の進展状況と質問項目を解析した。	
<b>結果：</b> 退役軍人は非退役軍人に比較して、有意に年齢が高く、生涯飲酒量が多かったが、線維化スコアの中央値は非退役軍人と違いがなかった。 単変量解析では、アラニンアミノトランスフェラーゼ、ネクロインフラマトリー活性 (NIA)、クリオグロブリン陽性率は退役軍人でも非退役軍人でも線維化に関連した (すべての比較で $P < 0.05$ )。しかし、脂肪変性は、非退役軍人においてのみ線維化との関連を示した ( $P < 0.0001$ )。多変量解析では、NIA は両群で線維化に対する独立した危険因子であった ( $P < 0.01$ )。その上、非退役軍人では、線維化は、脂肪変性、著明な飲酒量、年齢とそれぞれ独立して関連があった (すべての比較で $P < 0.04$ )。	
<b>結論：</b> 線維化の危険因子は、非定役軍人と、退役軍人のような HCV 感染が高率なグループでは異なっていた。特定の患者の集団効果を理解しようとする場合、慢性の HCV 感染における病気の予後についての独立した危険因子を同定することは重要である。	